

第 3 回臨時会会議録目次

第 1 日目（平成 22 年 6 月 3 日）	頁
○開会宣告	3
○開議宣告	3
○日程第 1 会議録署名議員指名	3
○日程第 2 会期決定	3
○日程第 3 報告第 1 号 平成 21 年度滝川市病院事業会計継続費の繰越しについて	3
○日程第 4 議案第 1 号 平成 22 年度滝川市一般会計補正予算（第 2 号）	4
○閉会宣告	14

平成22年第3回滝川市議会臨時会（第1日目）

平成22年 6月 3日（金）

午前10時00分 開 会

午前11時02分 閉 会

○議事日程

日程第 1 会議録署名議員指名

日程第 2 会期決定

日程第 3 報告第 1号 平成21年度滝川市病院事業会計継続費の繰越しについて

日程第 4 議案第 1号 平成22年度滝川市一般会計補正予算（第2号）

○出席議員（18名）

1番	渡 辺 精 郎 君	2番	窪之内 美知代 君
3番	酒 井 隆 裕 君	4番	清 水 雅 人 君
5番	関 藤 龍 也 君	6番	本 間 保 昭 君
7番	山 口 清 悦 君	8番	中 田 翼 君
9番	大 谷 久美子 君	10番	荒 木 文 一 君
11番	堀 重 雄 君	12番	三 上 裕 久 君
13番	堀 田 建 司 君	14番	田 村 勇 君
15番	山 腰 修 司 君	16番	井 上 正 雄 君
17番	水 口 典 一 君	18番	山 木 昇 君

○欠席議員（0名）

○説 明 員

市 長	田 村 弘 君	副 市 長	末 松 静 夫 君
教 育 長	小 田 真 人 君	会計管理者兼理事	飯 沼 清 孝 君
総 括 理 事	高 橋 賢 司 君	総 務 部 長	吉 井 裕 視 君
総 務 部 次 長	高 橋 一 昭 君	市民生活部長	西 村 孝 君
市民生活部次長	伊 藤 克 之 君	保健福祉部長	橘 弘 恭 君
保健福祉部次長	佐々木 哲 君	経 済 部 長	若 山 重 樹 君
経 済 部 参 事	多 田 幸 秀 君	経 済 部 参 事	佐々木 邦 義 君
建 設 部 長	大 平 正 一 君	建 設 部 技 監	三 谷 文 彰 君
教 育 部 長	舘 敏 弘 君	教 育 部 次 長	河 野 敏 昭 君
教育部指導参事	春 田 淳 一 君	監 査 事 務 局 長	堀 下 博 正 君
病院事務部長	東 照 明 君	病院事務部次長	鈴 木 靖 夫 君

総務課長 田中嘉樹君

財政課長 山崎 猛君

○本会議事務従事者

事務局長 中嶋康雄君

次 長 田湯宏昌君

書 記 山本信子君

書 記 寺嶋 悟君

開会 午前10時00分

◎開会宣告

○議長 おはようございます。ただいまより、本日をもって招集されました平成22年第3回滝川市議会臨時会を開会いたします。

ただいまの出席議員数は、18名であります。

◎開議宣告

○議長 これより本日の会議を開きます。

会議を開く前に、去る5月26日に開催されました全国市議会議長会第86回定期総会におきまして議員35年以上の功績で井上正雄議員が特別表彰を受け、議員15年以上の功績で水口典一副議長並びに窪之内美知代議員がそれぞれ一般表彰を受けましたので、その伝達式を行います。

それでは、暫時休憩をいたします。

休憩 午前10時01分

再開 午前10時06分

○議長 長 では、休憩前に引き続き会議を再開をいたします。

◎日程第1 会議録署名議員指名

○議長 長 日程第1、会議録署名議員指名を行います。

会議録署名議員は、山口議員、大谷議員を指名いたします。

◎日程第2 会期決定

○議長 長 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りをいたします。今期臨時会の会期は、本日の1日間といたしたいと思います。これに異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長 長 異議なしと認めます。

よって、会期は1日間と決定をいたしました。

◎日程第3 報告第1号 平成21年度滝川市病院事業会計継続費の繰越しについて

○議長 長 日程第3、報告第1号 平成21年度滝川市病院事業会計継続費の繰越しについてを議題といたします。

説明を求めます。病院事務部長。

○病院事務部長 報告第1号 平成21年度滝川市病院事業会計継続費の繰越しについてご説明申し上げます。

平成21年度滝川市病院事業会計継続費の繰り越しについて、地方公営企業法施行令第18条の2第1項の規定により、別紙のとおり報告するものであります。

別紙、継続費繰り越し計算書をごらんいただきたいと思います。病院改築事業の継続費の設定につきましては、総額、年割額などの議決をいただいているところですが、平成21年度年割予算額34億8,629万4,000円に対し、支払い義務発生額が31億4,164万3,000円となりましたので、地方公営企業法施行令第18条の2第1項の規定により予算額から支払い義務発生額を差し引いた残額3億4,465万1,000円について翌年度へ通次繰り越しいたしましたので、同項の規定により報告するものであります。

なお、翌年度の通次繰越額に係りますところの財源内訳は、企業債を3億4,460万円、損益勘定留保資金5万1,000円を予定しているところであります。

以上、報告とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

○議長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございますか。

(なしの声あり)

○議長 長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結いたします。

報告第1号は報告済みといたします。

◎日程第4 議案第1号 平成22年度滝川市一般会計補正予算（第2号）

○議長 長 日程第4、議案第1号 平成22年度滝川市一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。副市長。

○副市長 おはようございます。議案第1号 平成22年度滝川市一般会計補正予算（第2号）についてご説明申し上げます。

今回の補正は、第69代横綱白鵬が滝川市観光大使に就任いただけることとなったことに伴い、滝川開村120年記念事業としてモンゴルへの調査団の派遣や横綱白鵬を迎えての委嘱状交付、市民交流会、祝賀ディナーの開催など各種事業を実施するための補正であります。横綱白鵬の滝川市観光大使就任は、國學院大學北海道短期大学部において平成14年から19年までモンゴルの学生を受け入れを行ったのをきっかけとして民間交流も始まったこと、JAたきかわ菜種生産組合長ほか生産者がモンゴルに出向き、菜種の栽培指導を行ってきたこと、また本市は日本での羊肉文化を築いた地域であり、食文化においてもモンゴルとの共通点があることから、地域振興アドバイザーの出村氏を通じ、大使就任を依頼したのが実現するものでございます。

1ページをごらんください。第1項で、歳入歳出の総額にそれぞれ180万円を追加し、予算の総額を201億7,909万4,000円とするものです。

第2項で、補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表によるところでございます。

2ページから3ページまでは、第1表、歳入歳出予算補正でございますので、お目通しをいただ

きたいと思います。

続いて、補正の内容につきましては事項別明細書により歳出からご説明を申し上げますので、8ページ、9ページをお開き願います。2款1項1目一般管理費、補正額180万円の増額につきましては、滝川開村120年記念事業に要する経費の補正でございます。本事業は、当初予算で100万円を実行委員会交付金として組んでおりましたが、事業内容の詰めをしてきた中で横綱白鵬が滝川市観光大使に就任することなどに伴い、事業を拡大して実施したいとするもので、具体的な事業内容といたしましては、市長を初めとする8名の調査団を編成し、6月5日から8日までの間、協力調印式、農業関連施設の視察などを行うため、モンゴルへの派遣を実施したいとするものです。また、6月13日には横綱白鵬を滝川市に迎え、観光大使委嘱式、記念植樹、リブラーン主催の講演会、横綱白鵬と大至のトークステージの開催、文化公園において無料参加できる市民交流会やホテル三浦華園において記念祝賀ディナーを開催するなど、ちゃんこなべを食べながら横綱白鵬と市民の交流を予定しているところでございます。本事業を契機にモンゴルに対する農業の技術指導等の実践、スポーツを通じた児童交流、経済交流を図り、滝川市の知名度アップ、さらに物産販売や観光振興など地域の活性化につなげていきたいとするものです。なお、事業費のうち50万円が財団法人市町村振興協会のいきいきふるさと推進事業の対象事業として交付予定となっております。

以上、歳出合計で180万円の増額となったところでございます。

続きまして、歳入についてご説明申し上げますので、6ページ、7ページをお開き願います。20款1項1目繰越金130万円の増は、補正に必要な一般財源を繰越金で調整したいとするものでございます。

21款5項3目雑入50万円の増額は、歳出関連でございます。

以上、歳入合計で180万円の増額となったところでございます。

以上を申し上げまして、議案第1号の説明とさせていただきます。

○議長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございますか。渡辺議員。

○渡辺議員 おはようございます。それでは、大変いい案でございますが、少しばかり友好都市とか、そういう事柄につきましてご質疑をしたいと思うわけでございます。

白鵬、モンゴルあるいはジンギスカンの縁で大変いい企画ではないかと思うわけではありますが、しかしこれもやはり人気商売でございます。力の世界でございますから、いつでも白鵬も引退というようなこともあろうかと思うわけでもあります。ただいま勢いのいいときに観光大使、大変いい企画だと思うのですが、必ずこういうものは政治の世界と同じように引退というようなことがあるわけではありますが、その後のそういうことをどのように考えておられるかと、こういうこともひとつ考えてもらわなければいかぬと思うのですが、そこでそれより先にこの妙案を考えたことは大変賛同したいのでありますが、国内の友好都市のこういう事柄についても少し反省をして、外国との友好ですか、そういうものもぜひ一緒に、国内も国外も同じようなことでやっぱりしっかりとやってもらいたいと、こういうふうに思いますので、ちょっとお伺いいたします。

まず、名護市、今もう日本じゅうで、滝川との友好都市の名護市が大変なことになっているわけ

であります。そういうことで肝心の名護市、この今苦しんでいる名護市をやっぱりどんなふうに滝川として励ましたり、友好都市なのですよというようなことでそういうことが行われておるのかい、これについて伺います。まず、1点目でございますが、この5年間ほどの人的交流、栃木のこともあるのですが、ちょっと名護に限定したいと思うのでありますが……

(何事か言う声あり)

○渡辺議員 大事なことです。こういうことをほうっておいて、また次のモンゴルで同じことをやってしまうと、やっぱり議会の責任、十分これは考えられます。ぜひこれは答えてください。

名護市との5年間のこういう反省、人的交流はどんなふうになっているのか、これをやっぱりお答えいただきたい。これやっぱりだれか係ではなくて、市長の口から市長として覚えているそういう名護市との交流は主なものこんなことがあったというようなことを言っていただければと思います。

2つ目であります、一昨年名護市の市長さんが50周年の滝川にいらっしゃったと思うわけですが、田村市長はこの名護市に訪問されたのはいつだったのかなというようなことで、これもちょっと2番目、お答えいただきたいと思います。

3番目であります、先ほど申し上げましたようなこういう名護市の苦悩の毎日でございますので、市長として何か……

○議長 渡辺議員、質疑はいいのですが、これはモンゴルの白鵬の関係でございまして、それと友好都市という大きな概念ではご説明はいただきますけれども、名護市のことについて詳細についてはこれにはふさわしくありませんので、質疑を変えていただきます。

○渡辺議員 いや、大事なこと。答えなければ答えないでそれは結構です。一応は、こういうことで……

○議長 長 答えなくて結構、もちろん結構なのですが、その前に質疑のほうもそのようなことをご留意いただいて、質疑をいただきます。

○渡辺議員 しかし、友好というものは後まで、最後までやっぱり責任持ってと、こういう感覚で言っておりますので、モンゴルの白鵬とかジンギスカン、これを反対のために言っているのではありませんから、念のためにお答えできる範囲でお願いします。

○議長 長 お答えできる範囲で答弁をお願いいたします。

(何事か言う声あり)

○議長 長 いいえ、具体的なことは。ですから、私から言いましたけれども、それは必要ありませんので、友好都市ということで。市長。

○市長 今を時めく第69代横綱白鵬が本当に滝川の観光大使を引き受けてくれるということでもありますから、夢のような話ではありますが、これをこういう横綱も滝川を応援しようということと同時に、日本とモンゴルとのかけ橋になりたいという思いを持っていらっしゃいますので、この思いも同時にやっぱり我々の背丈でできる範囲で進めていかなくはならないというふうに思います。横綱白鵬が尊敬する横綱は、69連勝をした双葉山が最も尊敬する人物だというふうに聞いております。私は、白鵬が双葉山に迫る大横綱となることを期待をしておりますし、信じております。

そういう意味では、3年間は滝川の観光大使を引き受けてやろうではないかというふうにお話をいただいておりますから、全国に滝川の観光、滝川のまち、そういうものを情報発信をしていただくと。大きな力になっていただけるというふうに思います。横綱は名刺持たないのです。名刺があるとすると、滝川市観光大使の名刺です。ぜひともいろんな方に配ってほしいと。その名刺の裏には、滝川へ行ったらこんないいがあると。私は、その宣伝力に大いに期待しているところであります。

国内、国外の友好都市との関係ということですが、国内も国外もそれぞれ当初に考えていた交流の目的というものを着実に進んできているというふうに思っております。国外だけを優先したり、国内だけを優先したりというわけではありません。国内には国内としての友好親善都市としての付き合いがあり、スプリングフィールド、外国とは外国との友好親善都市としての付き合いがあり、目的もある意味では異なっているというふうにも思います。国内の交流を通じていい地域づくりをお互いにしていくと同時に、世界に広く目を向けて、可能な、そして我々の地域に必要な、国と国ということではなくて地域と地域との付き合いが友好裏の中に進んでいく、そういうことを強く期待しておりまして、その方向で市民の皆さん方、あるいは市民の団体の皆さん方の力をおかりもした民際外交も着実に進んでいるというふうに思います。

名護市との関係でございますが、私は国防は国の問題であり、国がきっちりと方向を示すべきだというふうに思います。私どもは、名護市の皆さんがどういう選択をなさっていくのかと、そういうことを冷静にお付き合いをさせていただくということが一番必要なことだというふうに思っています。ことは、日米安保条約署名50年の記念すべき年であります。そういう中であって、日米安保条約50年という節目を国がどういうふうに考えて、我が国の防衛ということに新たな判断をしていくのかというのは、やっぱり一地方首長としても極めて深い関心を持っているところであります。友好親善都市、名護市との付き合いは、かなり一生懸命やっているのではないのでしょうか。特にJCとの交流、あるいは物産交流、こういう民間における交流がどんどん進んでいることに深く感謝を申し上げて、この輪が一層広がることを期待しているものであります。

○議長 長 渡辺議員。

○渡辺議員 大変ありがとうございました。私の見解とその辺は同じでございますが、質疑の趣旨につきましてもう一度申し上げたいと思います。

古き友も大切に、新しい友を求める、こういうことがやっぱり滝川市の名誉のために大事でないかということで質疑をしたわけでありまして。したがって、次のモンゴルとの交流、白鵬が去った後もしっかりと続けていただきたいと、こういう意味で質疑いたしました。ありがとうございました。

○議長 長 渡辺議員、質疑ではありませんか。

○渡辺議員 あとありません。

○議長 長 今まで何回もご指摘したように、これは質疑の場ありますから、そういうことを今後はご留意いただきたいと思っております。

清水議員。

○清水議員 8点について伺いをしたいと思います。

まず、1点目は、ウランバートル市などとの協定調印が5日からの訪問中に行われるわけですが、この調印される文書の案、これについて読み上げていただければというふうに思います。内容を伺います。

2点目は、これまで青森県のあるまち等が農業支援を行ってきて、稲作についても行ってきたということを踏まえて、当市に対して白鵬関が期待をしていると、滝川にです。そういうことを伺っておりますが、これまでのそういう支援実績を踏まえると、モンゴルでの稲作の可能性というのはどうなのかということについて伺いをいたします。

3点目は、1万5,000円のディナーショーですが、就任のお披露目の企画なわけですね。そういう点で市民だれもが参加できるとは言えない高額の交流イベントではないのかというふうに考えますが、その点の批判があるわけですが、伺いをいたしたいと思います。

4点目は、同様に文化センターで行われるトークショーについてもリブラーン主催ということで、リブラーン会員以外は大人1,000円、中学生以上でしたか、500円ということで有料なのですが、これについては何らかの共催で市民については無料という、そういう企画ができなかったのかということについて伺います。

5点目は、公表からイベント内容の発表までが非常に期間が短いというか、観光大使就任を委嘱しますという公表とイベントの内容が同時に発表されたわけですが、通常であれば大使就任を依頼するかどうかそのものを市民や議会に諮る期間があつてしかるべきだったのかなというふうに思いますが、一番最初のきっかけから決断まで、そしてなぜ同時発表になったのかという経過について伺いをいたします。経過と理由です。

6点目は、5日から8日のモンゴル訪問ですが、菜の花まつりの真ただ中で、特に菜の花まつり、6日には市長はモンゴルにいらしているということに対して、今菜の花まつりには横綱白鵬関の観光大使効果と同等かと思えるようなマスコミ、あるいは他市町からの観光客の皆さんがもう既に5月下旬からたくさん見えられていると。丸加高原伝習館は、たしか日曜日の来客数が700人を超えたということで、菜の花まつりの効果というのは非常に大きいのですが、大きいことは周知のことなのですが、この菜の花まつりの真ただ中に市長が行かれるということについて、訪問の時期をこれとずらせなかったのかと、ずらす努力はしたのかという批判が寄せられています。こういった声に対してそういう努力はされたのかどうかについて伺います。

7点目は、観光大使事業は観光事業、そしてモンゴルとの交流事業ということで、観光及び交流という2つの側面を持っていると思うのですが、他の事業とのバランスというのが今後非常に重要になってくるのではないかと思います。そういう点で滝川の観光事業及び友好交流事業の22年度の予算総額と主な内訳。主なというのは、名護市との交流で幾らとか、その程度の大まかな主なという内訳で伺いをいたしたいと思います。

8点目は、今回白鵬関及び大至親方に対して約240万円の謝礼及び旅費が支出されるわけですが、金額を決めるということはやはり予算行為が、要するにこれ補正組む前なら、ちゃんと予算持っているのならいいです。予算がないから、こういうふうに補正予算を組むわけです。とすれば、

やはり補正予算が決まってから事業、契約金額を決めるとかというのが通常です。ただ、相手がこういう著名人、特に第69代の絶頂期の横綱だということで、全く例外を否定するものではないのですが、この謝礼及び旅費の金額の根拠です。これ滝川市から示したものなのか、それとも相手側から示されものに基づいたものなのか、根拠をお伺いをいたしたいと。

以上です。

○議長 長 経済部長。順番を言ってから言ってください。

○経済部長 今清水議員さんから8つの質疑がございました。その中で私の答えれる範囲で答えさせていただきます。

まず、1番目でございます。ウランバートル市協定調印という形の文書案でございますけれども、ウランバートル市と滝川市の友好宣言という形で行いたいと思います。例えば覚書ですとか議定書ですとか、いろんな形がそのところで調印の中にあると思いますけれども、その中でも特に言われている一番軽いと言ったら失礼ですけども、その内容を本当に細かく詰めている内容ということではなくて友好宣言という形で、内容は農業技術の普及、青少年の健全育成などを通して両自治体の相互理解、友好親善を促進することを確認してこの宣言文に署名するというような形で、ウランバートル市長さん、それから滝川市長、そしてここ先ほども市長から話あったように両国のかけ橋となっている横綱、この3名の署名で行いたいと考えております。

青森県の農業支援、これは車力村の話だと思います。今たしか合併して、つがる市かどこかと合併になったと思うのですが、その村長さんが大変頑張っていて、モンゴルのほうで稲作という形で、たしか稲がとれたということで私たちも話は聞いておりますし、本にもなっているところでございます。ただ、やはりいろんな面で続かなかったということも聞いております、どういう面かというのは詳しくはわかりませんが、それで、場所的にはよくわからないのですが、今横綱が話しているのはやはりウランバートル近郊でというようなお話を1つされています。それで、稲ということもございますけれども、何かそういう寒い地で、野菜ということもやっぱり頭に入れているということも聞いております。ただ、稲ということになればやはりちょっと場所は違うかもしれませんが、前例があるという形で、なかなか気温、水、土、そこら辺がどう兼ね合いがあるのか、今回の調査である程度見てきたいという形でございます。

1万5,000円のディナー、お披露目という形で市民が十分に参加できないのではないかとというご質疑でございますけれども、やはり就任の披露パーティーといいますか、実際はそういうような形をとりたいとは思っておりますけれども、実は6月の13日ではなくて当初は12、13で来る予定でございました。それが13日どうしても先方の予定が入りまして、相撲協会との関係での予定だと聞いておりますけれども、来れなくなって、13日にすべて賄うというようなすごくハードスケジュールの中で今組まさせてもらっています。それでも市民の皆様のお披露目という形では、市民交流会を文化公園で行うと。その中で横綱に約1時間程度いてもらうような形で、例えばもちつきですとか、お話をちょっと大至と一緒にやるですとか、そういう形で時間の少ない中でお披露目をさせて、皆さんに見ていただきたいという形を考えているところでございます。

4番目のトークショー、これリブラーン主催ということで、大人1,000円、子供500円と

いう形で、何らかの共催で無料という形で考えてできなかったのかということでございますけれども、これもやはり文化センター、体育センターになったらもっと広いと思いますけれども、一応1,100名が入るという形で、大きい会場ということで文化センターを設けたと。ここをすべて無料にするとどういような現象が起きるのかということも考えて、やはり市民の皆様無料ということで考えて、先ほどお話しさせていただきました文化公園での披露という形に落ちつかさせていただきました。

5番目の質疑でございます。イベント内容の発表、公表からイベントの内容同時という形でございますけれども、このところも白鵬関と直になかなか話す機会も少なかったというのも現実でございますし、また就任という形で、こちらのほうからオーケーだよということ、それと同時にやはり就任と同時にどういことをやったらいいのかということを経験のない中でもんだ中で同時発表という形になりました。イベントをこれ以上おくらすわけにはいかないという形で同時発表をさせていただきました。それで、いろいろ努力はしたところでございますけれども、一番いい形、就任とイベントをやはりマスコミ発表少し大きくとらえていただきたいということもございましたので、同時発表という形で行いました。

あと、6番の菜の花まつりの関係でございますけれども、菜の花の実行委員会、先般の5月の末の日曜日がいいのか、それとも6月6日がいいのかという形で実行委員会でもいろいろもまれたという話は聞いております。それで、やはり農家さんの考えといたしましては6月6日が多分菜の花の最適な時期ではないかという判断のもとに決められたと。それで、そのときにもしかしたら滝川市長、それからJAの組合長がいないという形も承知の上で、やはり市民の皆様が一番いい花の時期をお祭りに持てきたいという形で、苦渋の選択という形で6月6日に開くと。それで、訪問時期もいろいろ検討した関係はございます。このときでなければいけないのかということも含めて、例えば大きくずらすとか、いろんな形を考えました。その中でやはり横綱自体が5月場所終わって、今も現在モンゴルにいらっしゃいます。いつも帰っているわけではないですけれども、今回はちょっと長く帰るということも聞いておりますので、その期間の中でモンゴルで例えばモンゴルの少年相撲とかもいろいろ催している中で、向こうの日程調整の中でやっぱりこの日しかちょうど横綱もあかないという形で6月の5日から8日の中で訪問するという形でございます。

それと、7番目はちょっと全体予算の関係ですので、8番目でございます。240万円という形で、これは言ってみたら報償といいますか、委託という形をとりたいと思うのですが、そういう形と、それから旅費含めての240万円だと思います。それで、このところも根拠といたしましては、横綱が例えばこういうものに対して幾らかかるのかというのはやはり私たちの中でもなかなかつかみ切れないところございます。その中で私たちとしては、当初予算100万円という予算を120年の当初予算で組ませていただきまして、もう一つ、50万円はいきいきふるさとで今回補正かけましたけれども、これは当初からねらっていたお金でございます。その150万円の中で、あと例えば当初はディナーパーティーという形でなくて違うやつで益金を一生懸命汗をかきながら生み出していくということも考えていたのですが、その中で滝川市といいますか、実行委員会の予算としてはこのぐらいしか出せないのだという形で、その中で極力抑えていただきたい

ということをお話したことは事実でございます。ただ、この金額のこういう金額になりましたよという形は、やはり先方のほうもいろいろ加味していただいた金額でございます、旅費は別ですけれども。向こうにお支払いするといえますか、そういう額ではそういう形になっております。ただ、先ほど申したように横綱が動けばどれだけかかるのかというのははっきりは私たちのほうでもわからないところでございますけれども、もっと多額のお金が必要でないかということも一部耳には入っているところでございます。

一応7番を飛ばしまして1番から8番までの質疑に対するお答えでございます。よろしくお願いいたします。

○議長 総務部長。

○総務部長 清水さんの予算の関連の質疑に答弁させていただきたいと思います。

まず、国際交流の関係の事業、都市間交流等も含めまして予算の金額につきまして答弁させていただきますが、一応都市間、国際交流事業に要する経費ということで、平成22年度の予算全体で7,391万9,000円組んでございます。その内訳につきましては、国際交流協会の補助金が345万円、それから国際交流・国際協力推進基金造成補助金、これは新しい事業でございますが、2,000万円、国際交流推進基金造成寄附金5,000万円、これは予算でも説明させていただいたものでございます。その他諸費といたしまして46万9,000円でございますけれども、この中に名護市との交流事業で26万8,000円、それから栃木市との交流事業で11万9,000円と、このような予算の組み立てになってございます。

それから、観光関係の予算でございますけれども、これにつきましては観光費全体で本年度は2,079万7,000円ということで、前年度に比べまして489万円増となっております。この観光費の中身につきまして、2,079万7,000円の中身につきましては、少し申し上げますけれども、イベント、コンベンション振興に要する経費が870万円、これ観光協会の補助金等でございます。それから、観光振興計画策定の経費112万3,000円、菜の花等の花観光に要する経費が249万3,000円、どうぶつらんの経費763万4,000円、体験・食観光については72万3,000円、スカイスportsが12万3,000円、これらになってございます。このような予算の中身でございます。よろしくお願いいたします。

○議長 長 答弁終わりました。再質疑ございますか。清水議員。

○清水議員 まず、市民へのお披露目です。市民及び観光ですから、全国に対するお披露目ということになると思うのですが……

○議長 長 何番目の再質疑。

○清水議員 3点目、4点目について。

○議長 長 はい。

○清水議員 ということで、文化公園で1時間の交流と。これだけが無料で交流できるという時間なのですね。それで、特に文化センターについては無料にすると入り切らないのではないかとかという、そういったお話、理由も挙げられて、無料は断念したということですね。やり方はいろいろあると思うのです、2回やるとか。1部、2部同じことを2回やって一回出てもらうとか、

入れかえるとか。やはり結局はリブラーンに事業を全部お願いをしたので、こういうことになったというふうに私は思うのです、これを市が独自事業としてやればそれだけ経費がかかるので。リブラーンから横綱に対して別途謝礼等が支払われている可能性もありますよね。そういったことも含めてリブラーンとの調整で、無料で1, 100人の倍の方が白鵬と大至のトークショーを聞けると。短ければダイジェスト版にしてもらえばいいわけですから、そういうことを今からでも追求して一人でも多くの方々に見てもらうという検討は、私は絶頂の横綱であればあるほど必要だというふうに思いますが、その辺についてはもう検討をする余地もないということなのかということでお伺いをしたいと思います。

2点目は、白鵬関の謝礼、つまり契約ですよね。観光大使は、ボランティアでやっていただけるわけではないと。謝礼をお支払いするということは、こういうことをしてほしいということをきっちりやっぱり伝えていると思うのです。その中身なのですけども、先ほどの話を伺っていると、その都度謝礼が発生するのだというふうに私は理解したのですけれども、今後22年度だけでもまだ10カ月ぐらいありますよね、4月、5月ですから。その10カ月間の間にさらに白鵬関に対する謝礼が発生するようなイベントを行う可能性、また白鵬関に名刺とかという話をされましたけれども、通常横綱は名刺を持たないけれども、今回はつくるのだと。白鵬関には、その名刺をどこで利用していただくのか。それは、白鵬関の考え次第なのか、それともこういう場では配ってくださーいというような話がされているのか、一応お伺いをしておきたいと思います。

以上です。

○議長 経済部長。

○経済部長 清水議員さんの再質疑で、文化公園、特に文化センターで2回やる云々と。当初本当に清水議員さんおっしゃられるようにリブラーンの方が中心になってやっていただいて、向こうのほうでやっていただいたのは事実でございますし、その中でリブラーンのやり方もあるのかなというような気はいたしますけれども、ただいろんな方に見ていただくということを考えると、やはり文化公園が私たちの中では一番いいのではないかなというような、本当にあそこところは人数的にも文化センターで2回やるよりはずっと入る施設でございますので、その中で白鵬関を就任という形でお披露目するのは一番いいのではないかなということで考えております。そのほうが一人でも多くの方々に見ていただけるのはやはりそこではないかなという形でございます。

それと、2つ目の質疑でございますけれども、観光大使になられて毎月例えば報酬を払うとか、そういうような形では一切ございません。どういような動き方をしていただくという形で、その都度やはりその動き方によっては謝礼が必要な部分もあるかと思ひますし、ないかとも思ひ。その動き方によってはいろいろ変わってくると。私たちとして今お願いしているのは、やはり滝川市の言ってみたらPR、そこら辺の広告塔ではないですけども、PRとしていろんな形で、名刺もその一つでございますけれども、滝川市をPRしていただきたいということは話しております。どのどのようい場面てというの、そこまでは詳しく、やはり私たちも横綱の動きが逐一わかるわけではないという形で、どこでどのようい場面てという話ではないですけども、白鵬が許される範囲の中でどのよういような名刺を出していただいてPRをしていただきたいということも考えていますし、

ただこういうようなイベントを行いますですとか、こういうような観光大使に就任していただきましたとか、そういう形ですごく滝川の名前が全国的に売れているということも事実でございます。ですから、言ってみたら白鵬の横綱自体の動きもあるのでしょうかけれども、こういうような形で情報発信を滝川から全国に発していけると。それも取り上げていただけると。プラスよいことで取り上げていただいているということを考えると、やはり白鵬関に対する謝礼以上のものが滝川市の中では効果として生まれているのではないかという形でも考えているところでございます。

以上でございます。

○議長 長 山口議員。

○山口議員 観光大使に就任されるということで、後援会の結成を視野に入れているというふうにもお伺いしているのですけれども、市長が考えている後援会の役割はどういうものなのか。それと、後援会を構成する団体です。市が主導的にやるのか、それとも観光協会が中心にやるのか、それとも市内民間の企業がやるのか、その辺の構成が頭にあればお聞かせ願いたいというふうに思います。白鵬は、来場所また全勝優勝をする可能性が強いぐらいなのですけれども、優勝したときに後援会が駆けつけたりするようなものを想定しているのかどうかもお聞かせ願いたいと思います。

○議長 長 市長。

○市長 やはり横綱が滝川を応援してやろうということでお決めでいただいたわけですから、後援会ができればいいというふうに思っています。ただ、いきなり後援会ってできないだろうというふうに思っておりまして、やはり後援会をつくるための発起人会、準備会等、こういうのを関係の皆さん方に集まっていただいて、どういうふうにしていったらいいだろうかというところからスタートすべきだというふうに思っています。当然に後援会の組織は、行政が中心になってそれでやっていくというふうなことにはならないというふうに思いますし、そういう意味では横綱は1回会ったら、もうどなたでもすぐファンになるような人間的魅力を備えている方ですから、ぜひとも滝川市に足を運んでいただいて、本当に横綱頑張れという気持ちで純粋に応援していただける組織ができ上がって、でき上がる段階でやはりどういう運動をしていったらいいのかということも詰まっていけるのがいいというふうに思っております。現在は、私としてはそういう考え方で進んでいく。行政的な支援、きっかけづくりということは進めていきたいというふうに思っておりますし、一方、行政が別にきっかけづくりしなくても自発的に進んでいくという状況ができればさらに望ましいことだというふうに思っています。ただ、準備だけは、さっき言ったように準備のための組織、例えば発起人会とか、そういうものは一応声をかけてみたいというふうに思っています。

○議長 長 山口議員。

○山口議員 考え方はわかったのですが、私が心配なのは滝川市が観光大使として白鵬関に就任していただくというのはとても結構なことなのですが、市が主導して観光大使になってもらうのですけれども、後援会をつくった後に例えば優勝して駆けつけるときに、それは後援会で、ではあとは後援会でお願いしますということになれば、立ち上げた民間の団体が寄附なりなんなりをして資金をつくらなくてはならないということにもしなれば、きっかけをつくったのは滝川市であるにもかかわらず、あとは民間でお願いしますよということになると、とても市内の事業者としては

大変なという思いがありますので、その辺はそういうことではないということによろしいですか。

○市 長 やっぱり後援会組織は、無理して無理して進めていくことではないというふうに思います。それぞれの背丈の中で、本当に純粋に応援しようではないかという気持ちのあらわれが必要だと。そのために行くことがあるかもしれないし、地元で一生懸命声援を送るということがあるかもしれません。いずれにしても、後援会を組織づくっていただく皆さん方の気持ちがしっかりと届くような、そういうことが基本になるというふうに思います。

○議 長 ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

○議 長 これにて質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論ございますか。清水議員。

○清水議員 私は、日本共産党を代表し、議案第1号 滝川市一般会計補正予算に賛成の立場で討論を行います。

第69代横綱白鵬に3年間の観光大使を委嘱することについては、滝川市の大きな宣伝になることであり、賛成です。しかし、今後の進め方について意見を述べて賛成討論とします。

第1は、今回の予算総額821万円のうち、市費はいきいきふるさと推進事業助成金50万円を含めて280万円であり、そのほかにリブラーンやパーティー収入がありますが、今後3年間の予算規模は不明です。今後は、他の観光、産業関係事業、都市間友好交流事業等とのバランスをとって予算を決める必要があります。

第2は、モンゴルの首都等と友好宣言をしますが、交流費用は対等を貫くべきです。この場合、交流する市内団体に対して市が補助金を出す形での間接的予算支出についても同様にすべきです。

第3は、白鵬関が参加するイベントの入場料は市民は無料とすべきです。まず、これについて6月13日文化センターで行われるトークショーについても時間はすぐ先のことですが、検討をすることを求めます。

以上、賛成討論といたします。

○議 長 ほかに討論ございますか。

(なしの声あり)

○議 長 これにて討論を終結いたします。

これより議案第1号を採決をいたします。

本案を可決することに異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長 異議なしと認めます。

よって、議案第1号は可決されました。

◎閉会宣告

○議 長 本臨時会に提案されました議案の審議はすべて終了いたしました。

これにて平成22年第3回滝川市議会臨時会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

閉会 午前11時02分

上記会議のてん末は誤りがないので、ここに署名する。

平成 年 月 日

滝川市議会議長

滝川市議会議員

滝川市議会議員